

余別駐在所に

新しいお巡りさんが着任

4月1日付けで、余別駐在所に佐藤 真人 巡査部長（31歳）が着任されました。

3月まで北海道警察本部交通機動隊に配属されていた佐藤部長は、妻の美香さんと長女的美怜ちゃん（2歳）の3人で一緒に赴任。

警察官となつて初の札幌市以外での勤務となった積丹町での勤務に「初めての駐在所、そして海沿いの地域での勤務と初めてづくしですが、早く皆さんに顔を覚えていただいて、地域の安全を守るように一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。町内で見かけたら気軽に声をかけて下さい。」と抱負を語っていました。



佐藤 真人 巡査部長

外国語指導助手にイエン・コーカーさん

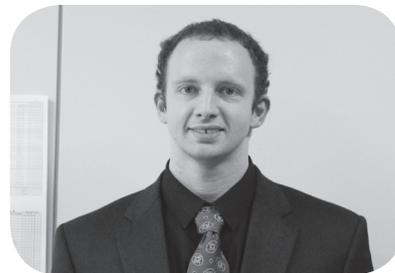


新たなALTが派遣されました！！



母国に帰国されたルーカス・ケレハーさんの後任に、4月からアメリカ合衆国出身のイエン・コーカーさん（28）が新たなALT（外国語指導助手）として積丹町へ着任しました。スペイン語やロシア語など、様々な言語に精通し、勉強熱心なイエンさんはすでに日本語もとても流暢に話します。

イエンさんに日本語で自己紹介文を作成していただきましたので、紹介します。



『私はアメリカのノースカロライナ州から来ましたイエン・コーカーと申します。ノースカロライナ州立大学シャーロット校で日本語を専攻し、今年の4月より日本で就職しました。28歳で独身です。お好み焼き、チキン南蛮、寿司などをはじめ様々な和食が好きです。好きな日本の音楽も幅広いです。』

テキサス州で生まれ、6歳の時に父がノースカロライナ州の会社に転職したため、家族と共にノースカロライナ州のウィンストンセレムという町に引っ越しました。13歳の頃から、日本料理、日本やアジアの伝統的な建築や習慣が目に入り、なんとなく日本に興味を持ちました。そして、外国語の勉強が僕にとって他の教科よりずっと学びやすく楽しかったことから、大学ではスペイン語、中国語、ロシア語のコースを専攻しました。

ところが、初めて通った大学は日本語の授業がなく、育った町には日本人が非常に少なかったので、独学で日本語を勉強し始めました。その後、本当に大学で日本語を専攻してまで学びたいかどうか確かめるため、四つのアルバイトで貯金したお金で札幌の日本語学校に6ヶ月間通いました。帰国後、日本語を専攻することを決め、ノースカロライナ州立大学シャーロット校に編入し、大分大学への留学も経験しました。

私が特に積丹町でやりたいことは、仕事はもちろんですが、日本語や異文化の体験を通した様々なことを経験することです。ALTとして積丹町の子供たちに英語とアメリカの文化を伝えることは勿論、様々な活動で地域の方々と仲良くなり、積丹町全体に貢献したいと思います。よろしくお願いします。』

山菜採りによる事故を防ぐために

【山菜採り5か条】

- 1 家族等に行き先と帰宅時間を知らせる。
 - 2 単独での入山を避け、掛け声で位置の確認をする。
 - 3 服装は目立つ色にする。
 - 4 携帯電話や非常食、熊除けの鈴等を携帯する。
 - 5 迷った時は無理をせず、落ち着いて行動する。
- 山に入る前には、クマの出没状況に気を付ける。
 - 「熊の出没注意」の看板がある場所には入らない。
 - ヒグマに人の存在を早めに知らせるため、鈴やラジオで音を立てるなどの工夫をする。
 - ヒグマの足跡や糞を見たら、すぐに引き返す。

役場10人の新しい顔

～ 4/1 新規採用職員と道との相互交流職員を紹介～



税務課

課長 中野 安秀
なかの やすひで

(北海道総務部財政局税務課)

北海道から派遣されました中野です。市町村税を担当するのは初めての経験ですが、積丹町のまらづくりに欠かすことのできない貴重な自主財源である町税をしつかり確保出来るようがんばりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。



農林水産課 主事補 松村 翔太 (札幌市出身 27歳)

農林水産課に配属となりました松村です。町は町民の皆様あつてのものだと思っていますので、一日も早く一人前の町職員となつて皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思ひます。

農林水産課 事務補

小原 準平 (入舸町出身 18歳)

農林水産課に配属になりました小原です。できることはまだ少ないですが、役場職員最年少として元気に働いていきたいと思ひています。見かけたら気軽に声をかけて下さい！ よろしくお祈ひします。



税務課 主事補 熊谷 卓思 (倶知安町出身 23歳)

今年の3月に大学を卒業し、4月から積丹町で働くことになりました。同じ後志管内の倶知安町出身です。早く積丹町の皆さんに信頼されるよう頑張ります。よろしくお祈ひします。

住民福祉課 技師補

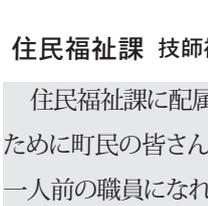
城野 果南子 (当別町出身 22歳)

4月から住民福祉課に配属になりました。これから、積丹町の職員として町の方々顔を覚えていただき、よりよい生活づくりに貢献していきたいと思ひております。どうぞよろしくお祈ひいたします。



住民福祉課 保健師 後藤 沙耶 (砂川市出身 21歳)

今年3月に旭川の学校を卒業し、積丹町に採用していただきました。この町の町民として、社会人として、そして保健師として成長できるよう住民の皆さんや職場の方から多くのことを学んでいきたいです。よろしくお祈ひいたします。



住民福祉課 技師補 東出 卓也 (小樽市出身 22歳)

住民福祉課に配属になりました東出です。この町に早く慣れるために町民の皆さんとは積極的に関わっていきたく思ひます。一人前の職員になれるよう、努力していきますのでよろしくお祈ひします。



住民福祉課 主事補 成田 友亮 (美国町出身 22歳)

住民福祉課に配属となりました成田です。今までお世話になってきた積丹町の皆様に少しでもご恩をお返しできるよう頑張ります。よろしくお祈ひします。

生涯学習課 技師 (文化財保護主事) 兼 社会教育主事

阿部 剛 (札幌市出身 32歳)

4月1日付けで、積丹町職員として再スタートを切ることになりました。これからは、町の文化財保護だけではなく、生涯学習の場で研鑽を積んでまいります。よろしくお祈ひします。



新規採用

北海道より派遣

住民福祉課

主査

川村

暁義

(北海道環境生活部環境局環境推進課)

北海道環境生活部からまいりました。住民福祉課は町民の皆さんとお話しする機会も多いと思ひますので、いろいろな方のご意見を伺つて仕事に生かしていきたいと考えています。よろしくお祈ひします。